

# 目指すは実践的な コミュニケーション能力

市では、文部科学省から「教育課程特例校」の認定を受け、英語の実践的コミュニケーション能力の基礎を養うことを目的に、市独自の指導計画で英語教育を行っています。



セレブ女優になりきって英語で質問を受ける  
(平成小・6年)



英語でじゃんけん(平成小・6年)



「アナと雪の女王」の主題歌を英語で(西中・1年)



ピーター先生と英語でやりとり  
(西中・1年)

## 小1から英語の授業

全国では多くの小学校が、英語の授業を5年生から始めます。ところが、本市の市立小学校では1年生から英語の授業を始め、歌やゲーム活動などをしながら楽しく英語を学んだり、異文化に親しんだりしています。

中学校では、全国の標準授業時間数より年間で15〜18時間多い授業を行います。この時間を利用して、教科書を使う授業のほかに、聞く・話すことを中心とした実践的コミュニケーション能力の基礎を養うことを目標にした授業を行っています。

## 全ての小中学校に 配置されるALT

市では、全ての市立小中学校に外国人英語講師(ALT)を配置しています。ALTは、学級担任や英語の担当教員と、協力しながら授業を行っています。

ALTとの授業は基本的に英語で行われます。身ぶり手ぶりを交え、写真やイラストを見せるなど、児童・生徒が楽しく意味を理解できるように工夫されています。

児童・生徒は、ALTが話す英語を耳で感じ、発音をまねること

で、英語のリズム・発音を自然に身に付けられます。

そして、ALTとの関わりを通して、英語に物おじすることなく、自らの思いを英語で伝えられる機会を多く得ることが出来ます。

## 多くの子どもが 英語好き

平成25年度に行われた市立小中学校の児童・生徒へのアンケートで次のような質問がありました。

- ①英語の学習が好きですか
- ②外国人と友達になりたい、外国のことをもっと知りたいですか
- ③将来外国へ留学したり、国際的な仕事に就きたいですか

「そう思う」と答えた人は、①が小学生の約94%、中学生の約73%、②が小学6年生の約91%、中学3年生の約80%、③が小学6年生の約67%、中学3年生の約55%でした。これは、文部科学省が調査した全国の平均より、①は約20%、③は約24%も高い結果でした。

市では今後も、英語の実践的なコミュニケーション能力を身に付け、国際社会で活躍する人材の育成を目指していきます。

※くわしくは教育指導課 ☎20・1582へ。